

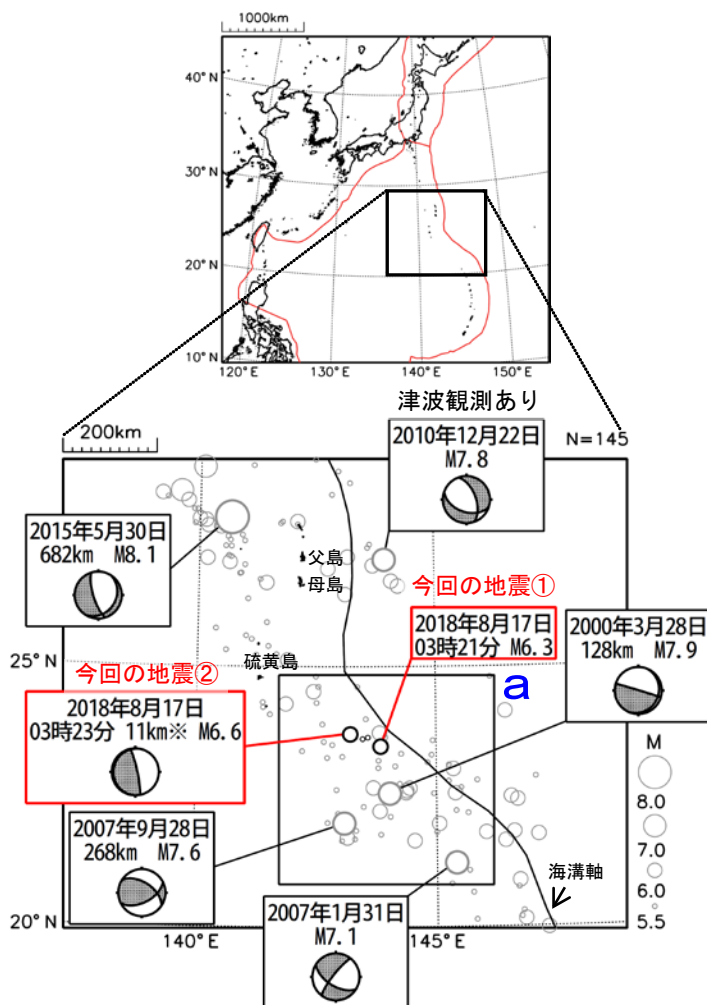
8月17日03時21分、03時23分 硫黄島近海の地震

震央分布図

(2000年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)

2018年8月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

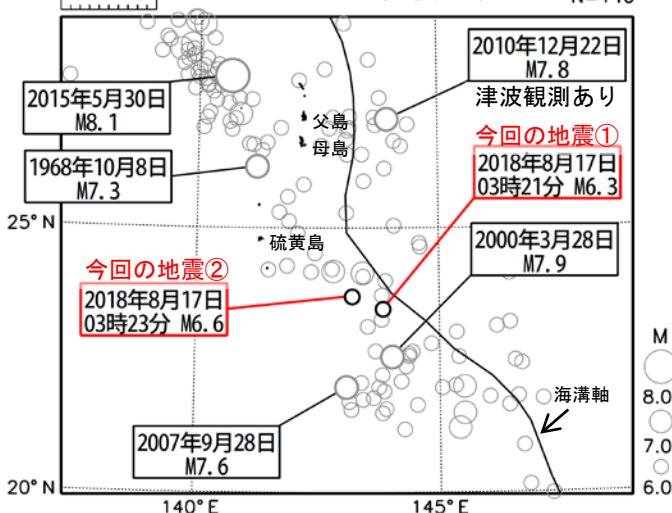


※2018年8月17日03時23分の地震 ($M6.6$) の深さはCMT解による。

震央分布図

(1923年1月1日～2018年8月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2018年8月の地震を濃く表示



※本資料中のプレート境界の位置はBird (2003) *より引用。

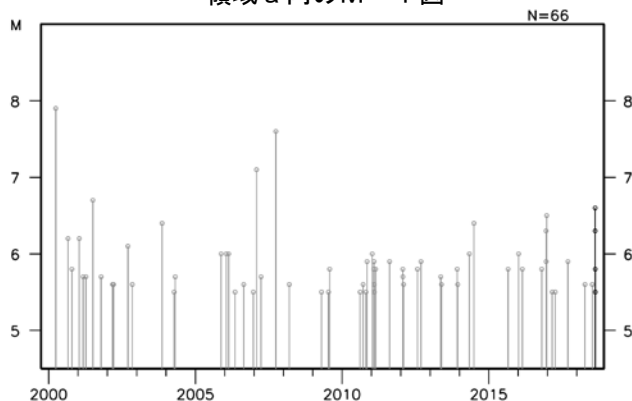
*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

2018年8月17日03時21分に硫黄島近海で $M6.3$ の地震(震度1以上を観測した地点なし、今回の地震①)、同日03時23分に硫黄島近海の深さ11km(CMT解による)で $M6.6$ の地震(最大震度1、今回の地震②)が発生した。今回の地震②は発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、2000年3月28日に $M7.9$ の地震(最大震度3)が発生するなど、 $M7.0$ を超える地震が3回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海で $M7.8$ の地震(最大震度4)が発生し、八丈島八重根で0.5mの津波など、東北地方から沖縄地方にかけて津波を観測した。

領域a内のM-T図



左図の領域内のM-T図

